

第 11 回東京多摩地区 5 国立大学法人公共工事入札監視委員会議事概要

開催日及び場所	令和 6 年 2 月 28 日（水）13：30～15：45 WE B 会議（Zoom）	
委員	委員長 林 静雄（東京工業大学名誉教授） 委員 相葉 和良（弁護士） 委員 清水 至（公認会計士）	
審議対象期間	令和 4 年 7 月 1 日～令和 5 年 6 月 30 日	
抽出案件（合計）	6 件	（備考） 今回の審議対象期間においては、再苦情の申立て及び同審議依頼はなし。 抽出案件の個別審議は、委員 3 名により審議を行った。 その際、委員会資料「資料 8－①～⑥」に基づき、各発注機関の担当者から説明を行い、質問等への回答を行った。
工事（小計）	6 件	
一般競争入札 （政府調達に関する協定対象工事）	0 件	
一般競争入札 （上記工事を除く）	5 件	
工事希望型競争入札	0 件	
通常指名競争入札	0 件	
随意契約	1 件	
設計・コンサルティング業務（小計）	0 件	
一般競争入札	0 件	
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	なし	

別紙

意見・質問等	回 答
<p>審議に先立ち、今年度の庶務担当である一橋大学から委員の紹介の後、委員長を選出を行い、林静雄委員を委員長に選出した。</p> <p>次に議題について説明があった。</p> <p>議題 1～3</p> <p>一橋大学から資料 1～7 に基づき、説明があった。資料は、事前配付しており、概要説明後、承認された。</p>	
<p>議題 4</p> <p>5 大学建設工事及び設計・コンサルティング業務抽出案件の審議</p> <p>1) <u>工事：一般競争（最低価格落札方式）</u> 【研究講義棟 1～4 階照明設備更新（LED 化）工事】 （東京外国語大学）</p> <p>（東京外国語大学より資料 8-① に基づき、工事概要、落札率が 50%以下となったこと及び入札参加者に対して低入札業者の割合が 80%以上の事業となった理由を説明）</p> <p>それほど特殊とは言えない工事であるが、低入札業者が 8 割を超えていて、落札率が 50%以下という状況が生じるのは予定価格を設定する際の調査が不十分ではないか。どのように予定価を決めたのか。</p> <p>市場価格との乖離が大きい場合、適正な競争を行うという観点から実勢の価格を反映したうえで予定価格を設定する必要があるのではないか。</p>	<p>積算基準のルールに従い、算出した。乖離の大きかった労務費と経費については、市場価格を独自に算出していることはない。</p> <p>今後、入札業者以外にもヒアリングなどにより、確認したうえで、やり方について検討したい。</p>

意見・質問	回 答
<p>2) <u>工事：随意契約</u> 【中央監視制御設備更新（エネルギー見える化）工事】 （東京外国語大学）</p> <p>（東京外国語大学より資料8-②に基づき、工事概要、随意契約のうち少額随契でない事業となった理由を説明）</p> <p>中央監視制御設備というのは最初に入れた業者以外は入れないような汎用性は無いのか。</p> <p>エネルギーの見える化というのは、特別な工事なのか。</p> <p>最初に導入した際の契約時にメンテナンス等も含めた契約なのか。</p> <p>中央監視制御設備は最初に導入したのはいつか。</p> <p>今後、新たに設備を導入する際は、他社も導入できるような汎用性のあるものを導入する方が良いと思う。</p>	<p>通信規格がメーカー独自のものであるため、汎用性が無く、他社は参入できない。</p> <p>元々電力使用量が見えるようになっていたが、今回の工事でガスの使用量と、電気とガスの使用量に基づくCO2排出量が見えるようにするというもので、特別ということはない。</p> <p>メンテナンスがセットの契約ではない。</p> <p>2000年。</p>

意見・質問	回 答
<p>3) <u>工事：一般競争入札（総合評価落札方式（実績評価型））</u> 【附属竹早中学校体育館内装改修工事】 （東京学芸大学）</p> <p>（東京学芸大学より資料8-③に基づき、工事概要、競争入札において1回目の入札で落札率が99%以上の事業となったことの理由を説明）</p> <p>4者から入札があったとのことだが、どのくらいの違いがあったのか。</p> <p>予定価格として算出した内訳と落札業者が出した見積もりの内訳は同じか。</p>	<p>落札業者は100%、2番目が143%、3番目が149%、4番目が232%。</p> <p>仮設工事や塗装工事等、予定価格と業者の見積もりの内訳を比較すると相違があるが、最終的に偶然一致したものと考えられる。</p>
<p>4) <u>工事：一般競争入札（総合評価落札方式（実績評価型））</u> 【小金井団地ライフライン再生（給水設備等）工事】 （東京農工大学）</p> <p>（東京農工大学より資料8-④に基づき、工事概要、入札参加者に対して低入札業者の割合が80%以上の事業となったことの理由を説明）</p> <p>三者とも見積もりに一部分が抜けたというのはなぜか。</p>	<p>東京ガスから見積もりを取り、その際に配管工事と土工事の2つの見積もりがあったものの、入札業者は配管工事の分しか、徴収していなかった。おそらく内容をよく確認せずに入札してしまったのではないかと考えられる。</p>

意見・質問	回 答
<p>東京ガスの見積もりが見にくいという事はあるのか。</p> <p>配管工事については、三者とも同じ金額が入っていて、入札金額の違いは他のところで生じているのか。</p> <p>入札の段階では、三者とも土工事分を除いて入札しているため、その分持ち出しになっているという事か。</p> <p>5) <u>工事：一般競争入札（総合評価落札方式（実績評価型））</u> 【東3号館 260 室改修電気設備工事（再度公告）】 （電気通信大学）</p> <p>（電気通信大学より資料8-⑤に基づき、工事概要、競争入札において応札者が1者のみの事業となったことの原因を説明）</p> <p>再度公告ということで、最初の公告と2回目の公告の時に入札に参加してきた三者の業者は同じか。</p> <p>予定価格は1回目と2回目で変更したのか。</p>	<p>東京ガスに確認したところ、配管工事は東京ガスでやらなければならないが、土工事については、東京ガスでやったり、他の業者がやったりすることがある。そのため東京ガスでは基本的に、配管工事と土工事の2つの見積もりを作るが、三者とも配管工事の見積もりしか取らなかったという事だと考えられる。</p> <p>三者ともガス設備の工事については、2,700万円程度で金額が入っているので、その他の工事で差が出ている。</p> <p>そのとおり。</p> <p>一者は同じだが、残りの二者は違う業者である。</p> <p>1回目の公告では、予定価格との差が大きかったため、工事内容や1回目の業者の内訳書を参考に金額を見直した。</p>

意見・質問	回 答
<p>工事内容の見直しというのは、この工事の目的を達成できる範囲での見直しだと思うが、なぜ最初から下がった金額の予定価格を出さなかったのか、また、なぜ変更ができたのか。</p>	<p>本工事は、AI や IoT を活用したデジタル化を推進するための設備に交換するという工事であり、これにより、研究を推進するものであった。実際の研究をする担当者も含めて仕様をどこまで下げられるか、研究の範囲を少し縮小するなど、支障が出ない内容で設計自体の見直しを実施したうえで、予定価格を策定した。</p>
<p>年度が替わって、それに対する追加工事は行われるのか。</p>	<p>追加工事はない。</p>
<p>競争参加資格の申請をしたものの、入札には参加しなかったというのは、時期が遅くて人手が集まらないということだけが理由なのか。</p>	<p>一般的に参加業者は複数の入札に応募しており、同時並行で進んだ時に条件の良い案件が先に決まった場合、他の入札は辞退するという事をしていると聞いたことがある。</p>
<p>発注見通しの情報はどのように出しているのか。</p>	<p>文部科学省のホームページの発注見通し情報を公開するページで情報を出している。</p>
<p>大学のホームページでは出していないのか。</p>	<p>大学のホームページでは出していない。今後、掲載する。</p>
<p>情報を早く出すだけでなく、工事の意思決定を早く決める必要があるのだと思う。</p>	

意見・質問	回 答
<p>6) <u>工事：一般競争入札（最低価格落札方式）</u> 【(国立) 本館他照明設備改修工事】 (一橋大学)</p> <p>(一橋大学より資料8-⑥に基づき、工事概要、入札参加者に対して低入札業者の割合が80%以上の事業となったことの理由を説明)</p> <p>東京外国語大学の案件と同様だが、共通経費がとても下がっているというのはダンピングになっていないかという懸念があったが、金額を見ると各社とも金額が近いところで競争しているように見受けられるため、ダンピングではないと感じる。共通経費をどのように見積もるかという部分は難しいのか。</p>	<p>積算基準で経費を積算するため、本学の予定価格の方が高くなってしまいう傾向はあると考えられる。</p>
<p>議題5. その他</p> <p>特になし。</p>	

【講評】

特に指摘事項等はない。分析も調査もきちんとされていて良かった。
来年度は技術者がひっ迫すると言われているため、来年度の発注に関しては、早め早めの決断をして進めてほしい。